

(2) 障害者雇用優良事業所

○企業警備保障株式会社（宮崎市）

業種：警備業

従業員：294人



企業警備保障株式会社は、1969年（昭和44年）創業の、宮崎県全域の安心・安全を支える老舗の総合警備会社である。法人や官公庁、地域の大規模イベントまで、幅広い警備実績を誇っている。

雇用障がい者数は、身体障がい者5名（重度1名）知的障がい者3名、精神障がい者3名、合計11名が在籍しており、雇用率は、R8年6月1日 4.11%、勤続5年以上の割合は36.4%である。

同社での採用方針は、「一人ひとりの意欲を重視し、障がいの有無に関わらず、能力を発揮できる機会を平等に提供する」という方針に沿って、交通誘導や施設警備などの現場業務において、障がい者雇用の採用実績が多数あり、積極的な受け入れを行っている。個々の障がいの特性に応じたサポート体制も整えており、一人ひとりに適した働き方を提案している。採用活動としては、基本的にハローワークを中心に、合同就職面接会や説明会を積極的に活用している。

障がい者の職務内容は、障がい種別に関わらず、危険を伴う現場は避け、体力的・精神的に無理のない範囲の業務が中心である。基本的に身体・知的・精神障がいの種別に関わらず、交通誘導業務として、建物・土木工事現場・駐車場・イベント会場等で歩行者や車両の誘導を行い、安全を確保しつつ円滑な交通の維持に努めている。重度の身体障がい者は、都城支社において、9時から18時までのフルタイムで、警備員の配置などの管理を事務所で行っている。知的・精神障がい者の方は、交通誘導業務が中心だが、警備業務を適正に行うに当たって必要な「認知、判断及び意思疎通」など問題なく遂行している。

障がいに配慮した支援体制として、体調の波や、業務上の困りごとを一人で抱え込ませないための仕組みとして、直属の上司とは別に、本社事務所に相談役的な方を配置しており、毎日の出社や帰社の際に、表情や会話の中から体調などの変化を察知するように気を付けて、人間関係や体調の悩みを話しやすい「コミュニケーション体制」を構築している。また現場で判断に困るトラブルが起きた際も、リアルタイムでチェックして、何かあれば上司に相談してすぐに指示やアドバイスを送れる体制を整え早めの対応がとれるようにしている。「障がい者就業・生活支援センター」などの地域機関と密に連絡を取り合っており、業務面（職場の人間関係や作業手順）だけでなく、生活面（規則正しい体調管理や通勤）も含めた多角的なフォローを共同で行い、長期定着できるよう支援している。業務内容と指示の「見える化」を図り、見通しを持って仕事に取り組めるようにしており、ミスを防ぐための体制をとっている。具体的には、業務の工程を一つずつ分解し、写真や図を入れたマニュアルを作成して障がい者にもわかりやすいように具体的に明確な指示出しをするようにし、また複数の業務がある場合、どれから手をつけるべきか順番を明確にして、障がい者が混乱しないようにしている。

このように障がい者の職場環境や支援体制の整備構築に前向きに取り組んでいる優良企業である。